

令和4年度事業報告書

熊本県は、人口が1,727,902人、高齢化率が31.9%(いずれも熊本県推計人口調査(令和3年10月1日現在))で、全国より早く人口減少、高齢化が進行している。このような中、県では、「熊本復旧・復興4カ年戦略」(平成28年～平成31年)に続いて、令和3年3月に「新しいくまもと創造に向けた基本方針」(令和3年度～5年度)を策定し、熊本地震、新型コロナウイルス感染症、令和2年豪雨災害といった喫緊の課題に立ち向かうとともに、SDGsなどの新しい時代の流れを取り入れ、「豊かで活力に満ちた熊本」の実現に向けて取り組んでいる。

基本方針の中では、高齢者に係る取組みとして、健康寿命の延伸に向けた取組みや医療提供体制の確保、就労支援を行うとともに、地域での見守りや交通事故の抑止、地域の公共交通手段の確保等に取り組む、安全・安心な地域づくりを推進するとされている。

また、令和3年3月に策定された第8期熊本県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画(長寿・安心・くまもとプラン)においても、「高齢者が健やかに暮らし、いきいきと活躍できる“長寿で輝く”くまもと」づくりを目指し、すべての高齢者が、暮らしたいと思う地域・場所で、快適かつ安心・安全に、生きがいと社会参加の機会を持ちながら、自立して長寿を全うすることのできる熊本を目指すこととされている。

当財団には、こうした状況を踏まえ、「“長寿で輝く”くまもと」を目指し、活力ある長寿社会づくりの一翼を担うことが期待されており、国や県と協調した施策展開、市町村、社会福祉協議会、老人クラブ、各種団体等と連携した事業等の実施に努めるとともに、簡素で効率的な運営に留意しながら、引き続き次の事業に取り組んできた。

なお、各事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分行ったうえで開催した。

1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

2 高齢者への就労支援事業

事業実施状況

1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

(1) 広報事業

高齢者の生きがいと健康づくりに役立てるための情報を提供することにより、明るい長寿社会づくりに寄与した。

① 情報誌「さわやか」の発行（年2回）

健康・保健・福祉等に関する情報はもとより、高齢者の社会参加・貢献や仲間づくりに関する記事を掲載した情報誌を発行し、企業、市町村、市町村社協、老人クラブ、病院、公民館、図書館等に10,500部配布した。

- ・第96号(夏号) 特集:輝いて生きる
- ・第97号(春号) 特集:輝いて生きる

② 財団事業紹介等のホームページの運営

当財団の各種情報発信、シルバースポーツ交流大会をはじめ各種イベントの参加者募集等を行うなど、ホームページにより適時的確な情報を提供した。また、新たにフェイスブックの運用を始め、財団と利用者あるいは利用者相互の交流の場を提供した。

③ さわやかパートナーシップ講演会の開催

熊本さわやか大学校卒業生の地域における主体的な各種活動の活性化及びさわやか大学校の広報のため、各校卒業生会とのパートナーシップのもと、生きがいや健康づくりのための講演会を開催した。

なお、熊本校と八代校は、令和5年2月に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止した。

- ・人吉・球磨校 令和5年2月20日(月) 参加者52名
- ・天草校 令和5年3月28日(火) 参加者70名

(2) 人材育成事業

高齢者が地域の活力維持の担い手としてその役割を果たせるよう、学習、活動の機会を提供するとともに、高齢者の持つ豊かな知識と社会経験を活用し、その活動の支援を図った。

① 学習機会の提供

ア 熊本さわやか大学校の開校

高齢者の生きがい・健康づくりと仲間づくり、社会参加の促進を図るとともに、高齢社会のリーダーを育成するため、熊本さわやか大学校を開校した。

なお、令和4年度は、新型コロナ対策として通常より定員を減じて開校した。

	定員	入学者	修了者
熊本校(30期)	50名	55名	49名
八代校(22期)	45名	13名	12名
計	95名	68名	61名

イ 出前講座の開催

遠隔地の高齢者を対象に熊本さわやか大学校の講師を派遣して実施。高齢者の生きがい・健康づくり、並びに社会参加の意識を高めてもらうため、2地域で開催した。

- ・人吉・球磨校 令和4年10月17日(月) 参加者46名
- ・天草校 令和4年 8月23日(火) 参加者60名

② 高齢者の人材活用、活動支援

高齢者が長年にわたって培ってきた知識や経験を活用するとともに、その活動を支援した。

ア 「熊本さわやか知恵袋」登録者の活用

長年にわたって培ってきた知識や技能を有する高齢者を登録し、地域や団体などの利用者からの依頼に基づき登録者を派遣し、子供たちとの交流、福祉施設の慰問及びスポーツ・文化の普及など、高齢者の地域活動の活性化を図った。

- ・知恵袋登録者・・・スポーツやアトラクションなど5分野
個人：126名、団体：10グループ(令和4年3月31日現在)

(参考)

知恵袋登録者の活動状況(令和3年4月～令和4年3月)

- ・活動回数：個人 延べ1,018回、団体 延べ209回

イ さわやかボランティアーズ活動の支援

さわやか大学校の卒業生が地域毎に仲間づくりを図りながら、ボランティア活動を実践していこうという趣旨で結成された「さわやかボランティアーズ」の主体的な活動を支援した。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、活動を一部自粛した。

(令和4年度の主な活動)

- ・環境美化活動(10月、熊本城行幸坂周辺及び坪井川)
- ・シルバー作品展、シルバー囲碁・将棋大会等財団主催事業の運営補助

ウ さわやかシニアくらぶ活動の支援

各種企業から推薦された退職者及び熊本さわやか大学校卒業生で組織する運営委員会(さわやかシニアくらぶ)が、サラリーマンOBなど高齢者の社会参加を目的として行うイベント(小旅行等)の企画を支援した。

(3) スポーツ・文化振興事業

各種のスポーツ・文化活動を通して高齢者の健康保持と交流機会の拡大を図ることにより、新しい仲間づくりや積極的な社会参加を促し、元気に暮らせる地域社会づくりを目指した。

① シルバースポーツ交流大会の開催

高齢者の健康保持と交流機会の拡大を図るため、3年ぶりにシルバースポーツ交流大会を開催した。

- ・期間 令和4年5月7日(土)～5月22日(日)
- ・会場 熊本県民総合運動公園ほか6会場
- ・参加者 1,356名
- ・種目 17種目

ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、健康マラソン、グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーボール、ゴルフ、サッカー、弓道、剣道、太極拳、ダンススポーツ、バウンドテニス、スポーツウェルネス吹矢

② シルバー囲碁・将棋大会の開催

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、2日間に分けて開催した。

- ・期日 囲碁 令和4年6月4日(土)、将棋 6月11日(土)
- ・会場 熊本県総合福祉センター
- ・参加者 囲碁91名、将棋48名

③ シルバー作品展の開催

高齢者の文化活動を促進し、生きがいの推進を図るため、シルバー作品展を開催した。

なお、令和4年度は財団設立30周年記念作品展を同時開催した。

- ・期間 令和4年8月30日(火)～9月4日(日)
- ・会場 熊本県立美術館 分館
- ・部門 6部門(日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸)
- ・出展作品数 273点

**④ 第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会(ねんりんピック
かながわ2022)への選手派遣及び作品の出品**

ねんりんピックかながわ 2022 にスポーツ等選手団を派遣するとともに、作品を出展し、他県の高齢者等との交流を図った。

- ・開催地 神奈川県内17市9町
- ・期間 令和4年11月12日(土)～11月15日(火)
- ・派遣選手 144名(スポーツ及び囲碁・将棋)
- ・美術展出品 令和2年度に開催した第32回熊本県シルバー作品展6部門の金賞及び銀賞のうち11作品を出品

2 高齢者への就労支援事業

(1) 熊本高齢者無料職業紹介所の運営

高齢者の就労希望者に対してハローワーク及び熊本県生涯現役促進地域連携協議会と連携しながら、その能力に応じた職業紹介を行うとともに、事業主に高齢者雇用(求人開拓等)を働きかけた。

- ・紹介責任者1名、事務支援員1名(熊本相談所)
能力活用推進員(各県地域振興局) 10名

① 求人・求職・就職状況

- ・求人数 1,579名
- ・新規求職数 897名
- ・紹介数 614名
- ・就職数 296名

② 職種別就職状況

- ・雑役・炊事 188名
- ・事務 14名
- ・外務 0名
- ・家事手伝い 0名
- ・店員・倉庫係 5名
- ・技術・技能職 65名
- ・宿直・守衛 24名

(2) 熊本県生涯現役促進地域連携協議会事務局の運営

令和3年度から令和5年度までの3年度間、厚生労働省委託事業である生涯現役促進地域連携事業(地域協働コース)を受託した熊本県生涯現役促進地域連携協議会の事務局を当財団に置き、熊本高齢者無料職業紹介所と連携しながら高齢者への多様な就労支援に取り組んだ。